

平成29年度 第1回 千葉市社会教育委員会議事録

1 日 時：平成29年5月15日（月）

午前10時00分から午前10時30分まで

2 場 所：千葉ポートサイドタワー 12階 第2会議室

3 出席者

(1) 委員

西川議長、長澤副議長、岩切委員、小川委員、片桐委員、金田委員、上妻委員、高塚委員、松波委員

(2) 事務局

大崎生涯学習部長、小林中央図書館長、山田生涯学習振興課長、志保澤文化財課長、君塚放課後子ども対策担当課長、山口生涯学習振興課統括管理主事、田島生涯学習振興課長補佐、西森生涯学習班主査、藤山放課後こども対策班主査、野中生涯学習班主任主事、木崎科学都市戦略班主任主事

4 議 題

(1) 平成29年度生涯学習部主要事業概要等について

(2) 平成29年度社会教育関係団体への補助金交付について

(3) その他

5 議事の概要

(1) 平成29年度生涯学習部主要事業概要等について

生涯学習部が所管する主要事業の概要について、事務局が説明し、質疑応答を行った。

(2) 平成29年度社会教育関係団体への補助金交付について

社会教育団体への補助金交付の内容について、事務局が説明し、意見を聴いた。

(3) その他

長澤副議長から、公民館の指定管理者制度導入に関する経過、現状の確認があった。

6 会議経過

議事に先立ち、事務局から資料の確認、会議の公開および会議録の承認方法、会議の成立、職員紹介を行った。

(1) 平成29年度生涯学習部主要事業概要等について

○（西川議長）

「議題1 平成29年度生涯学習部主要事業概要等について」でございます。事務局より説明をお願いします。

○（山田生涯学習振興課長）

生涯学習振興課長の山田でございます。

「平成29年度 生涯学習部 主要事業 概要等」について、資料1によりご説明させていただきます。

資料1の1ページをご覧ください。

「平成29年度当初予算の概要」についてですが、今年度の市全体の一般会計予算額は、4,415億円で、そのうち、教育費の予算額は、667億1,300万円でございます。

そのうち、社会教育費の予算額は、48億3,474万円ございまして、前年度に比べて、6,317万7千円、1.3%の増となっております。

市全体の一般会計予算の構成比は、グラフにお示ししたとおりでございます。

次に、3ページをご覧ください。

生涯学習部の主要事務事業について、各所管からご説明いたします。

初めに、生涯学習振興課の「生涯学習センター管理運営」でございます。予算額は、5億7,911万4千円で、市民の生涯学習活動を総合的に支援し、生涯学習の振興を図るための中核的施設として、指定管理により生涯学習センターの管理運営を行うものでございます。

次に、「公民館管理運営」でございます。予算額は、4億7,920万3千円で、地域住民の最も身近な学習拠点及び交流の場として、地域における課題の解決を図るため、47公民館の管理運営を行うものでございます。

私からは以上です。

○（君塚放課後こども対策担当課長）

放課後こども対策担当課長の君塚でございます。

「放課後子ども教室推進」につきましては、5,433万千円で、小学校の放課後において、地域の参画のもと、多様な体験・学習の機会を提供することにより、子どもたちの放課後の充実を図ります。

このうち、拡充した事業ですが、「総合コーディネーターによる活動支援」につきましては、モデル校10校ありますが、そのうちの5校を特に重点支援校として支援体制の強化を図るものでございます。

また、新規の事業ですが、本年度4月1日より開始していますが、放課後こども教室と子どもルームを一体型にして運営するものでございます。稲浜小学校を会場にいたしまして、希望する全ての子どもたちが、家庭環境に関わらず一緒に過ごし、多様な体験機会が得られる居場所を提供するもので、まずは本年度1校ですが、モデル事業として実施いたします。

私からは以上です。

○（山口生涯学習振興課統括管理主事）

科学都市戦略、統括管理主事の山口でございます。

「科学教育推進」につきましては、5億2,987万7千円です。科学都市戦略事業方針に基づき、子どもたちの探究心向上と、青少年の創造力育成をはじめ、幅広い世代の市民が科学・技術に触れあう機会を提供するものです。このうちのほとんど、

5億2,899万7千円は、科学館の指定管理料となっています。
私からは以上です。

○（志保澤文化財課長）

文化財課長の志保澤でございます。

文化財課所管事業につきましては、お手元の資料の4ページをご覧ください。

初めに、「加曽利貝塚特別史跡化推進」9,424万1千円についてですが、加曽利貝塚の国特別史跡指定に向けて、貝塚の魅力や重要性を多くの方に知ってもらうため、シンポジウムを開催する他、縄文体験やイベントを拡充するなど集客力向上に向けた取組みを実施してまいります。また、史跡整備を進めるための基本計画を策定するとともに、史跡内の発掘調査を実施するなど縄文貝塚文化の研究を進めていくものでございます。

次に、「加曽利貝塚博物館管理運営」2,903万7千円についてですが、加曽利貝塚や縄文文化に関する発掘体験や土器づくりなどの教育普及を図るため施設の管理運営を行うものでございます。

次に、「郷土博物館管理運営」4,308万6千円についてですが、千葉市の歴史・民俗に関する教育普及を図るため、施設の管理運営を行うものでございます。

また、今年度は「千葉氏」に関する新規事業として、鎌倉時代の大鎧を作成し、鎌倉騎馬武者体験を実施するとともに、小中学校への出前授業等でも活用し、郷土教育の充実を図ってまいります。

次に、「埋蔵文化財調査センター管理運営」5,972万5千円についてですが、施設管理を行うほか、遺跡から出土した資料を用いた教育普及事業を実施するとともに、宅地開発などに伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施してまいります。

私からは以上です。

○（小林中央図書館長）

中央図書館長の小林でございます。

資料5ページをご覧ください。

「図書館管理運営」につきましては、7億565万3千円でございます。図書資料の整備に努め、身近で頼れる市民の図書館として、充実した図書サービスを提供します。

また、読書環境の向上を図るため、平成29年3月に花見川区役所1階の一部スペースに開設した、みずほハスの花図書館の管理運営を行います。

私からは以上です。

○（西川議長）

ただいま、平成29年度の生涯学習部の主要事業の説明がございました。これまでのところで、質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

（特に意見等なし）

ご意見も無いようなので、これで、議題1を終了します。

つづきまして、「議題2 平成29年度社会教育関係団体への補助金交付について」事務局より説明をお願いします。

○（君塚放課後こども対策担当課長）

資料2をお願いいたします。

「平成29年度 社会教育関係団体への補助金交付」についてでございます。

資料の下に四角の枠で囲ってありますとおり、社会教育関係団体への補助金の交付につきましては、社会教育法第13条において、社会教育委員会議の意見を聴いて行わなければならないと定められております。

そのため委員のみなさまにご意見をうかがうものでございます。

今年度でございますが、2団体、まず最初に「千葉県PTA連絡協議会」研究大会他合計6事業について、140万円を補助金予算としております。

その次でございます。「千葉ユネスコ協会」の「国際理解教育事業」について2万3千円でございます。額につきましては、いずれも、前年度と同額となっております。

議題2の説明は、以上でございます。

○（西川議長）

ただいまの説明につきまして、ご意見等がありましたらお願いします。

（特に意見等なし）

ご意見も無いようなので、これで、議題2を終了します。

以上で議題は終わりましたけれども、そのほか委員の皆様から何かございましたら、お話しください。

○（長澤副議長）

よろしいですか。毎回すみません。今公民館の管理運営の指定管理の問題ですが、市民の方たちへの説明会を行っていると聞いていますが、その様子をお聞かせいただければと思います。いつぐらいまで説明を行うのか、今も行っている最中ということでしょうか。

○（山田生涯学習振興課長）

4月から6月上旬にかけて、各公民館のサークル等連絡協議会、これは公民館ごとにございますサークルの代表者の集まりですが、年度当初に各公民館で総会が開催されていますので、そちらにお邪魔して、これまでの現状について、各公民館を回り、ご説明をさせていただいております。

日程が合わない公民館が多く、直接回れるのは16館でございます。

16館以外の公民館につきましては、あらかじめ日時を当課で設定させていただきまして、事前周知の上、会場にお越しただいて、同じようにこれまでの経過についてご説明させていただく形をとっております。

各公民館の利用者の代表者の方々に、これまでの経過をお話しているという状況でございます。

○（長澤副議長）

延べ参加者数や出ている質問、意見等特徴的なことはありますか。

○（山田生涯学習振興課長）

参加者につきましては、総会のために代表者の方がお集まりになられているところにお邪魔している形になっておりまして、だいたい20人から30人ぐらいの方々が集まっております。

主な意見といたしましては、指定管理者制度はいつから始まるのかということや、有料化になるのではないかとというご質問等が多い状況でございます。

○（長澤副議長）

昨年の12月に千葉市議会の教育未来委員会で、公民館を考える会の陳情が採択されて、時間をかけて、慎重審議をしてほしいという、これからの千葉市の公民館体制を大きく変える、とても大きな変革になるわけです。

それが教育未来委員会で採択されて、採択送付という言葉が委員長が使っていますが、「送付」というのは、誰に送付されて、それが送付された後どうなっていくのでしょうか。

議会に送付されたのか、千葉市長に送付されたのか、千葉市教育委員会との関係はどうなるのかというのが、感じたところです。

送付された先は慎重審議しなさいと、千葉市議会の教育未来委員会の意思としてあるというときに、教育委員会事務局が指定管理者制度の導入について慎重審議というのと、説明会を進めていくというのはややずれがあると思うのですが。

まず、行政的に「送付」というのはどういう行政的な手続きが行われるのかを事務局に確認したい。

○（山田生涯学習振興課長）

市議会の手続き的な話になると思いますが、市議会に対して市民の方から提出された陳情につきましては、採択送付の「送付」というのは、市長に対して「送付」ということになります。

市議会としては、この陳情は採択するので、市長へその願意を汲み取ってくださいということで、採択送付するということになります。

○（長澤副議長）

市長が慎重審議をしてほしいという陳情が採択送付されてきたときに、市長はどのような対応をするのでしょうか。

○（山田生涯学習振興課長）

手続き的に書面で回答するということはありません。ただ、市長あてに送付されますので、執行部としては陳情の願意を汲み取って、今後進めていくということになると思います。

○（長澤副議長）

市長から陳情が採択されたという結果を受けて、具体的に千葉市教育委員会に対して指示が来るなど、手続きはどのようになっているのでしょうか。

○（山田生涯学習振興課長）

教育委員会が所管の事項になりますので、教育委員会としてはその陳情の願意については、十分汲み取って進めていくということになります。

○（長澤副議長）

それは、千葉市の教育委員会会議に、陳情が採択されたということが報告されているという理解でよろしいでしょうか。

○（山田生涯学習振興課長）

平成28年12月の教育委員会会議において、千葉市議会の報告の中で報告させていただいております。

○（西川議長）

よろしいでしょうか。

○（長澤副議長）

大丈夫です。

○（西川議長）

ほかにはございませんか。なければ、以上で本日の議事を終了します。

議事後、事務局から次回会議の日程、議題として社会教育功労者顕彰候補者の選考を予定していることに関し、審議に際し、個人情報及び審議・検討情報を取り扱うことから、非公開とすることの確認、それに関する委員の了承、退任する委員の報告を行った。

問い合わせ先	千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課
電 話	043-245-5953
ファックス	043-245-5992
電子メール	shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp